

いいもの成らせるさくらんぼ便り



「絶対成らせる」さくらんぼ通信

Vol. 5 今年も人工受粉必須！！



- ◆ 来週までが今年のさくらんぼの山場です！
- ◆ さくらんぼを成らせることができるのは今だけ！受粉しないと今年も成らない！晴れ間を逃さず、**3回以上**受粉する！

1 4月9日未明の降霜で雌しべの枯死が発生！

・園地間差大！まずは自園地の状況を確認しよう

【被害がみられた園地での雌しべの枯死の発生状況】

【佐藤錦】少ない園地で2割、多い園地で8割、【紅秀峰】少ない園地で2割、多い園地で7割



正常 霜害を受けた雌しべ



霜害を受けた雄しべ



霜害を受けた花

2 結実対策

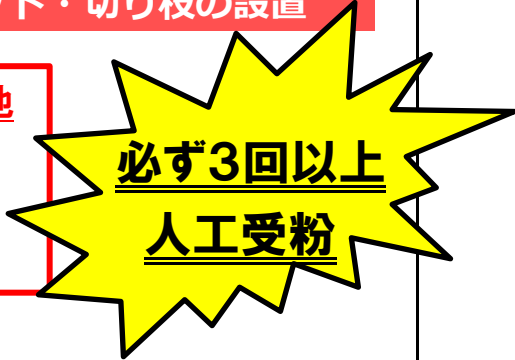
◆今年も例年になく結実しにくい 何かしないと今年も成らない！

- ⚠ マメコバチがない
- ⚠ 小花数が少ない
- ⚠ 凍霜害が発生

どの作業よりも人工受粉作業を最優先

+防風ネット・切り枝の設置

- こんな園地は
- 霜害（雌しべの枯死）が多い園地
 - 摘芽を行った園地
 - 受粉樹が少ない園地
 - 受粉樹と開花期が合わない園地
- 晴れ間を逃さず
何度も受粉



(1) 人工受粉

【今年のポイント】

☆霜害にあった園地は正常な花を狙って受粉

- ・腹側（下向き）の花
- ・樹の高いところの花

重点的に受粉



枝の腹側の花を重点的に受粉

☆開花が早い花は、正常な花が少ない可能性があるため、「満開期～開花期後半」を重点的に受粉（今年は満開後にもう1回受粉！）

◆毛ばたき受粉

- ・ **花が乾いていれば、いつでもOK!**
- ・ 実施回数が多いほど効果が高いため、晴れ間を逃さず何度も実施
- ・ 受粉樹を撫でた量の3倍程度受粉可能
(例：受粉樹の主枝を1本撫でたら、交配樹の主枝を2～3本受粉できる)



◆採取花粉を用いた受粉

- ・ 受粉樹から「風船状～開花直後」の花を摘み、開葯・希釈して使用
(開葯翌日から使用可)
- ・ 「ぼんてん」を用いる場合は、開花直後の花をねらって受粉する



(2) 切り枝の利用

- ・ 開花直前の太めの枝を使う
- ・ 水揚げを良くするため、水差し時に切断面を切り戻す
- ・ **受粉樹が少ない場所、受粉樹から遠い場所に多く設置**



(3) 防風対策

- ・ 風当たりの強いところでは、**防風ネット(目合い2mmまたは4mm目を二重)**や**古ビニール**を風上側に設置
※降霜時はネットや古ビニールのすそを上げておく

(4) 灌水

- ・ 花前花後は**たっぷり灌水**(開花期間中に乾燥した場合も灌水)
- ・ 灌水の目安は**20t/10a(20mm)程度**
(灌水設備がない場合は、樹冠下だけでもかん水)

3 「開花期防除」は適期を逃さず実施!

- ・ 開花直前、満開3日後の防除を遅れず実施
- ・ 雨が予想される場合は前倒し**(防除は雨の前が基本)**

◆「やまがた紅王」「紅秀峰」は雌しべの寿命が長いため、開花期後半も入念に受粉し、確実に成らせよう!

◆高温の影響で生育が進み、作業が集中してきています。忙しいときこそ安全第一! 農作業は気もまず焦らず計画的に。



絶対成らせるさくらんぼ通信



【豆知識】訪花昆虫利用のポイントについて

- ◆ マメコバチの数が全国的に減少しています。
- ◆ マメコバチの飼養管理を徹底するとともに、ミツバチを上手に活用して、さくらんぼを絶対に成らせよう！

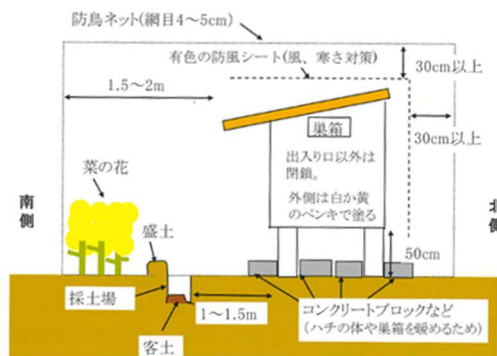
1 マメコバチの飼養管理のポイント

園地環境の整備

- 風上側に防風ネットを設置（ハチの活動を阻害するため、全面被覆しない）
- 開花期間中は下草を除草しない（訪花昆虫の餌源）
- 多様な餌源を確保（さくらんぼに加え、菜の花等を補植）
- 鳥害防止のため、出入口の金網に加え、広めに防鳥ネットを設置
- ドラム缶は夏季に高温になりやすいため、木製の巣箱に更新

採土場

- 採土場は深く掘り（40～50cm）、掘った土を巣箱の反対側に盛土する
- 穴を掘る代わりに、バットに土を入れて設置しても良い（毎朝、必ず給水）
- 保水性が高く、粘土質の強い土（赤土）を使う



■ マメコバチの巣箱の設置例



■ バットを使用した事例



■ ドラム缶は木製の巣箱に更新

2 ミツバチを上手に活動させるためのポイント

- 防風ネットは風上側のみに設置し、ネットのそばに巣箱を置かない
- 巣箱は直射日光が当たらず温度変化が少ない場所に設置（暑すぎたり、寒すぎたりするとハチの活動を悪くなる）
- 設置の際には、巣箱の出入口を南又は東向きに向ける
- 巣箱は地面に直接置かず、コンテナなどの上に置き、巣箱を水平もしくは後方を少し上げておく
- 設置後、10分程度は静置してから巣門を開放する
- 巣門を一度空いたら、移動させたり、方向を変えたりしない
- 巣箱を撤去するまでは、殺虫剤・除草剤を使用しない



■ 巣箱の設置状況